

科目名	障害児保育Ⅰ		担当教員	久保 瑤子		
			担当形態	単独		
テキスト	前田泰弘編著「実践に生かす障害児保育」萌文書林	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標 各障害の特性を理解した上で、障害児の育ちを支える保育実践に関わる基礎的知識を習得する。そして、障害児保育の本質を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各障害の特徴を理解し、自分の言葉で説明できる。 障害児の育ちを支える保育者として大切にしたいことを自分の言葉で説明できる。 障害児保育の本質を探求する。 <p>■授業の概要 前半では、「障害児保育」とは何かを考えると同時に、各障害の特徴について解説する。 後半では、障害児保育の実践についてエピソードや映像等を通して学び、保育者の関わり方について考える。 「障害児保育」で大切にしたいことを探求していく上で、柔軟な視点を持って参加すること。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 「障害」とは何か 第2回 障害児保育とは 第3回 障害児保育の基本 第4回 障害の理解と保育①（知的障害） 第5回 障害の理解と保育②（肢体不自由、聴覚障害、視覚障害） 第6回 障害の理解と保育③（自閉症スペクトラム障害、学習障害、ADHD） 第7回 発達が気になる子どもの理解と保育 第8回 障害児保育の実践① 第9回 障害児保育の実践② 第10回 障害児保育の実践③ 第11回 家庭や関係機関との連携① 第12回 家庭や関係機関との連携② 第13回 障害のある子どもの保育にかかわる現状と課題 第14回 まとめ・期末試験 第15回 期末試験解説：全体のふりかえり</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の該当部分を読み、自らの経験と関連づけて理解しておくこと。 授業のポイントを復習し、理解しておくこと。 授業で課された自己学習を行うこと。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の意見等 — 30% 期末試験 — 70% 						
参考文献	授業中に適宜示します。		特記事項	単位を修得できない場合、障害児保育Ⅱは履修できません。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修		幼			
			保	保育の内容・方法に関する科目		